



平和への発信

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

(ユネスコ憲章前文より)

**韓国UNESCO
大邱協会が**

友好親善で広島へ

**歓迎会、原爆ドーム、縮景園、伝統神楽
紅葉、天然記念植物・天狗シデ、温泉地投宿**

11月6日、韓国UNESCO大邱協会訪問団（7名）を迎えて交流プログラム

ムが開始された。訪問団メンバーは南相杰（ナム・サングル）会長と李明ヨンジヤ

夫妻、金孝哲（キム・ヒョチュル）副会長と（李明ヨンスン）夫妻、李東郁（イ・トンウツク）理事とジョン・ポーキユン 金旻徹理事（キム・ミンチュル）で2名の奥様は広島初訪問でした。

【第1日目】 広島到着後、歓迎夕食会（主催 広島ユネスコ協会 出席者45名）で歓迎。北川会長の歓迎挨拶、広島県日韓親善協会 玉木専務理事の来賓挨拶、南相杰団長の挨拶と団員紹介、記念品交換、広島YMCA 上久保 昭二総主事による乾杯音頭、各テーブルで会食しながら、懇談は盛り上がりつつあった。途中で山村いさゑさんの巧みな手品、両協会長などの日韓カラオケ合戦も楽しい雰囲気となり、記念撮影の後、出席者全員が手をつないでアリアンを合唱。日韓友好は最高潮となり、松原副会長が閉会挨拶し、再会を念じて閉会となりました。



大邱と広島両協会が親善の記念撮影

報告：藤井正一（国際部会長）



縮景園の菊花展を見学

【第2日目】 午前中、縮景園見学後、原爆ドーム参拝、韓国原爆犠牲者慰霊碑を参拝し、原爆犠牲者の冥福と平和実現を祈りました。この後、ホテル配車のマイクロバスで広島北ホテルに移動。午後、松井学芸員の案内で芸北民俗芸能保存伝承館を見学しました。

（2面へ続く）

被爆・終戦70年を来年に控えて

広島ユネスコ協会会長 北川建次

昭和20年、1945年は歴史に残る大きな節目である。近代と現代の分かれ目となった年でもあり、世界最初の忌まわしい原爆の投下と、日本が

行き着く所まで行ってしまったファシズム、軍国主義の終焉の年でもあった。あれから何と70年、人生



【第3日目】 佐々木さん、森木さんの車で土師ダムの紅葉風景、午後は近県優秀神楽鑑賞発表大会を2時間鑑賞し、大朝で国指定天然記念植物認定の天狗シデ群落を見学。田原温泉に投宿しました。幸運にも釜山山岳連盟訪問団と同宿になり、神楽を再度鑑賞。

【第4日目】 午前8時半、

ユネスコの精神に立ち返れ!

は、かろうじて生き延びたが、10歳以降、一身にして三世を経験するような人生となった。傘寿となる。傘寿にして思うことは、平和の大切さ、有り難さである。ユネスコの基本精神である。

70周年の原点に立って、再び、基本的な「戦争は人の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の



とりでを築かなければならない」のユネスコ精神に立ち返らなければならない。

そうでなければ、第二次世界大戦、太平洋戦争の影（おびただ）しい死者の霊に、何と応えたらよいだろうか。

「ノーモアヒロシマズ」「核兵器の廃絶を」を高らかに叫んで、実践に努力して行こうではないか。

被爆・終戦70年を記念し体験を募集へ

広島ユネスコ協会は、被爆・終戦70年を記念し、次世代に平和の尊さを書き残し伝えるため、被爆・終戦体験を紹介する機関紙特別号を企画中です。原稿募集の詳細は次号（2015年4月）へ

宿を3台の車で出発し、午前11時前の新幹線利用で福岡港から広島ユネスコ協会に感謝しながら9日帰国されました。

今回は UNESCO 大邱協会が、「とても美しい紅葉の田園風景と温泉」を希望されたので、それを組み込んだ日程となりました。会長、理事など数名が同宿して、今後の交流内容を率直に語りあう機会の必要性を強く感じました。



輪になって「アリアン」を合唱



天狗シデ（北広島町）



金孝哲さんのハーモニカ演奏



紅葉と温泉を楽しむ

広大附属中・高等学校と ユネスコ教育活動

日本で最初のユネスコ協同学校指定校



去る11月8日、広島大学附属中・高等学校は、第5回ESD大賞（主催：日本持続発展教育推進フォーラム、後援：文部科学省・日本ユネスコ国内委員会・ユネスコアジア文化センター・日本ユネスコ協会連盟・教育新聞社）におきまして、「ユネスコ・スクール最優秀賞」を受賞させていただきました。受賞の理由は、日本で最初にユネスコ協同学校（現在の呼称はユネスコ・スクール）の指定を受けて以来、今日まで一度も絶えることなく、ユネスコ教育活動を進めてきたことにあります。

指導的役割を果たされたのが永井滋郎先生でした。その後「実験」から「普及」へと方針転換がなされる

が退職された後の1994年、ユネスコ班の指導を私が受け継ぐことになり、この年、広島ユネスコ協会の会員に加えていただきました。以後、毎年夏、全国高校ユネスコ研究大会にユネスコクラブの生徒を引率し、

11・8、「ユネスコ・スクール最優秀賞」をいただいで



広島大学附属
中・高等学校教諭
藤原隆範氏

して高校ユネスコクラブが作られました。部の創設とその後、2005年、第51回全国高校ユネスコ研究大会を広島で開催することになり、主管担当校を務めました。この大会が成功裏に終わったのは、ひとえに、

研究発表や大会運営を下支えすることになりました。そして、2005年、第51回全国高校ユネスコ研究大会を広島で開催することになり、主管担当校を務めました。この大会が成功裏に終わったのは、ひとえに、

忘れることのない全国高校 ユネスコ研究大会広島開催

ただいたことにあります。この夏のこと、決して忘れることができません。とりわけ山本事務局長（当時）には、本当にご心配・ご迷惑をおかけいたしました。何度も参加した高校ユネスコ研究大会、なかでも、この広島大会は、真に最高レベルのものであったと思います。

また、2005年に「ESDの10年」が始まると、本校は中山修一先生を指導者としてお招きし、先陣を切ってESDの研究と普及につとめました。まだ他校がESDに注目しない時代に、いち早くESDをテーマにした研究大会を開催し、ESDの授業を公開いたしました。今回、「ユネスコ・スクール最優秀賞」をいただいたのも、とりわけこの頃の取り組みが評価されたことによるものです。その後、全国高校ユネスコ研究大会が廃止されるなど、ユネスコクラブの活動

の場が縮小されるなか、広島ユネスコ協会の主催行事に参加させていただくことが、活動の大きな柱になりました。「平和の鐘を鳴らそう」「国際理解セミナー」「世界寺子屋運動のための街頭募金活動」「杉並ユネスコ協会青年部との交流」などに参加させていただいて、交流と経験を積むなかで、生徒たちにユネスコ精神が大きく育まれているように感じます。

課題は次世代のEESDに 経験を経験を伝授すること

ユネスコクラブに在籍したことが、その後の進路選択に大きな影響を与えているようです。今日も彼らは地球のどこかで、「持続可能な未来の担い手」として活躍してくれています。

若い人たちが過ごす教師生活はたいへんに楽しく、青春の日々がいつまでも続いているかのような錯覚を覚えていました。人生には限りがあることを自覚しなければならぬ年齢を迎え、次世代のEESDに私のささやかな経験を伝授すること、公私ともに、これが大きな課題となっております。

平和の集い2014

誓いも新たに

広島ユネスコ協会は今年も8月15日、広島平和記念公園「平和の鐘」の前で、『第15回「平和の鐘」の集い2014』を開きました。この集いには、高校生、韓国人



平和へ誓いも新たに鐘をつく高校生ら (8・15)

青少年・女性のページ

平和の鐘を鳴らしました。「平和の鐘」の打鐘は、ユネスコが提唱し国連が決めた「平和の文化国際年」(2000年)以来、日本各地のユネスコ協会が行っています。

高校生らが市民と共に鐘をつく

集会では、広島協会の北川

建次会長の挨拶のあと、ノートルダム清心高校の濱崎楓子さん(15)、菅島志赤さん(15)が、「原爆投下という悲惨な事実を風化させてはならない」「被爆者の言葉からより多くを学び、それを発信していくことが私たちの使命だ」と訴え、広島大学附属高校ユネスコ班の田村梨奈さん(15)、小櫻智穂さん(16)は、「原爆への怒りを家族や友達に伝えていくこと。怒りを共有することが戦争を止める原動力に」「核兵器の使用を止める最後の歯止めとして、必死の思いで訴え行動してきた被爆者の方々が生きている間に、私たちの手で核兵器をなくそう」と呼びかけました。

「家庭や地域で見失いがちなものを見直ししましょう」という呼びかけで開講された『おとなの寺子屋』で、「マナー・おもてなし」と題して、講師を務めました。

結婚式の水引はどれ？正しいリボンの結び方はある？…の問いかけに、一瞬戸惑う受講者が、高齢の方の中にも結構いらっしやいました。

頑張ってます

広島文化学園
短期大学非常勤講師

梅本 昌子

日本人の「おもてなし・思いやり」は世界的にも高く評価され、大きな注目を集めています。しかし、現実はどうでしょう。私には、その心がかかなり失なわれてきているように思われます。もったいない感がしてなりません。

私は、現在高校・大学の非常勤講師、役所や企業での社員教育の仕事を

しています。学校では、検定問題から学ぶ「マナー・おもてなし」の講座などを受け持っています。

「マナー・おもてなしの心」を絶やさなことを願って

学生から「先生、熨斗(うつつ)って何?」「マナーは何のためにいるの?」と尋ねられ、驚く事がしばしばです。マナーや立ち居振る舞い、敬語などを学ぶ機会が案外少ないのが現状です。

心を育てるには長い時間が必要ですが、日本の心を後世に残すためにも、まずそれを知っている私たちがしっかり意識し、大切に扱い、それを見せ、語っていき定着させたい。そう密かに願う私です。

広島ユネスコ協会の一員となって3年になりました。皆様に教わりながら、日本・広島文化の伝承活動を行きたいと思っています。(協会会員)

ユネスコ
活動奨励賞
受賞おめでとうございます

6校・6団体の活動を顕彰

【学校部門】

○広島市立長束小学校

長束神社に伝わる「長束木遣」を、地域文化の継承として学校教育に生かす活動

○広島市立畑賀小学校

地域の支援を得て川の水质や生物調べ、清掃、ホタルの成育に関わる活動継続

○広島市立矢野南小学校

「はだしのゲン」に学び、麦を育てる活動を通して、平和教育への取り組みを強化

○広島市立阿戸中学校

高齢者と触れ合う体験活動を通して、地域の伝統と文化を理解し継承発展する

○広島市立基町高等学校

戦争と原爆の実相を調べ学び、絵に描く活動を通して、平和な世界の実現のために積極的に取り組む活動

○広島県立広島井口高等学校

国際交流で語学力や協働

伝統文化、環境、平和など推進

性を養う一方で、体験活動による自己実現の意欲を高め、主体的に取り組む教育活動

【社会部門】

○劇団「花子ちゃんとそのお友だち」

芝居、語り、紙芝居などで平和、愛、障害等への理解を深める活動への取り組み

○NPO法人セトラひろしまグリーンプロジェクト

公開空地の美化のため花を植え付け管理を継続して協働作業として行う

○広島フイリピン友好協会

文具や衣料などを現地の養護施設に送り、市在住の人達との交流も続ける

○正木地区ホタルの里復興会

川を中心に環境を整備し地域の総力を上げてホタルの再生に取り組む活動

○里山環境保全みどり会

武田山、火山、丸山の整備と様々なイベントで、多くの人のつながりを作る

○特定非営利活動法人虹橋の会

和紙やちぎり絵を通して、日中の文化芸術の交流。両国の友好・平和の促進活動

（表彰は来年1月24日の新春フェスタ・6面掲載で行う）

教育部会長 足立柳子



大会で表彰されたESD推進の団体と個人

岡山・津山市で中国ユネスコ大会

11月15、16日に中国ブロックユネスコ大会が、岡山県津山市で開催された。当会から亀井副会長、足立、井尾、世木田、森木理事、竹沢監事、藤井事務局長（15日）、横佩、坂本会員、内田が参加した。ユネスコスクールでESD活動を経験して卒業した人たちが、引き続き各地域のユ

協でESD活動をできるようにしてほしい、との問題提起もあった。個人的には当会に青年部かESD活動部設置の必要性を感じた。（会員 内田一士）

現代インドの魅力を紹介

「高校生国際理解セミナー」

十二月二十三日に開催

グローバル化が進む中、国際平和に貢献する青年を育成するため、今年度も青

少年センターと共催して高校生国際理解セミナーを、今月23日（祝・火）に市民交流プラザマルチメディアスタジオで開催します。午前10時から、広島大学大学院教育学研究科教授の由井義通氏による基調講演と高校生による事例発表、意見交換を行います。昼食の後、午後からは、八丁堀に移動して、コアアクション（世界寺子屋運動募金活動）を行います。多数ご参加ください。（青少年育成部会長 國田繁）

国際協力の日

「国際交流・協力の日2014」のイベントが、11月16日（日）、広島市中区の国際会議場で開かれ、広島協は「市民団体等活動紹介コーナー」の展示に参加。当協会の年間行事「新春フェスタ」や「平和の鐘の集い」「高校生の国際理解セミナー」などの活動を、写真で掲示し、見学者と対話するなど交流を深めました。



ユネスコサロン

広島協主催のユネスコサロン（第161回）が、9月13日（土）開かれ、美術評論家で元広島市現代美術館副館長の竹澤雄三さんが、「ひろしまの美術館に誇りを」と題して講演をされました。

来年1月
24日に

新春フエスタ 《新春コンサート》

「素晴らしき出会いに乾杯！」

「男性声楽トリオ「デ・アリード」とともに」

音楽好きの3人が意気投合して結成した男性声楽ユニット「デ・アリード」。「声楽を通じた出会いをリードしたい」という願いが込められている。馴染みのある

国内外の曲を歌い、楽しいトークを交えながらアットホームな雰囲気にもまれた感動のひとつとき……。ナマで聴く男性ヴォーカルトリオの迫力をお楽しみ



協会理事
森木 学氏

私が広島ユネスコ協会へ入会したのは、公民館に勤務していた時である。公民館は教育分野の中の社会教育（今は生涯学習）を担っており、市役所で管理している施設である。当時はユネスコ活動に関する分掌事務があったことから、協会の加入を勧められた時は、

あまり躊躇しなかったものである。協会の活動は名だたる先輩たちが先導されておりましたし、そのことは大変頼もしく感じておりました。現職中、活動には殆ど関わることがなかったが、唯一、2005年（平成17年）8月に開催された、第51回全国高校ユネスコ研究大会をお手伝いしたことを記憶している。その後は広報部会の理事として名を連ねている。退職後は時間の許す限り行事に参加するとともに、事務局のお手伝いをするなど、少しでも協会の発展に寄与できたらと思っ

- に……。
- 〔曲目〕
- 「花は咲く」
- 「マイ・ウェイ」
- 「坂の上の雲」
- 「カンツォーネメドレー」
- など12曲を予定。
- 〔日時〕 1月24日（土）午後2時からユネスコ活動奨励賞表彰式。続いて3時から新春コンサート。
- 〔会場〕 広島市文化交流会館（文化部長 井尾義信）

- 〔8月〕
- 2日/理事会
- 15日/平和の鐘
- （広島平和公園鐘楼前）
- 〔9月〕
- 2日/ユネスコ活動奨励賞打ち合わせ会議
- 8日/高校生国際理解セミナー 打ち合わせ会議
- （青少年育成部・教育部会）
- 13日/第16回ユネスコサロン

日誌

- 「ひろしまの美術館に誇りを！元広島市現代美術館副館長竹澤雄三（国際会議場）
- 16日/広報誌紙面改革打ち合わせ会議（広報部会）
- 30日/第88号広報誌打ち合わせ会議（広報部会）
- 〔10月〕
- 2日/会長・副会長・部長会議
- 10日/第2回ユネスコ活動奨励賞推薦委員会
- 30日/新春フエスタのコンサート打ち合わせ
- 31日/ユネスコ活動奨励賞選考委員会
- 〔11月〕
- 6/9日/韓国大邱ユネスコ協会広島友好親善訪問
- 6日/韓国大邱ユネスコ協会歓迎会（アークホテル）
- 9日/ユネスコ活動奨励賞打ち合わせ会議（教育部会）
- 15/16日/中国ブロックユネスコ活動研究会岡山大会（津山市）
- 16日/国際交流・協力の日展示（国際会議場）
- 22日/第1回広島県ユネスコESD大賞表彰式&プレゼンテーション（広島市南区民文化センター）
- 〔12月〕
- 6日/理事会（国際会議場）
- 6日/ユネスコ活動奨励賞打ち合わせ会議（教育部会）
- 14日/同打ち合わせ会議（教育部会）
- 23日/高校生国際理解セミナー（市民交流プラザマルチメディアスタジオ）
- 寺子屋運動募金（広島天満屋ビル前）

広島ユネスコ協会の「ひと顔」



協会会員
道上浩美さん

私のユネスコとの出会いは、たまたま出席したパーティーで松岡様と同席したのが縁で、平成11年10月の「ユネスコサロン」現地講座・下蒲刈」に誘ってくださったいました。視察や会食を楽しみながら一緒に過ごしていただきまし

嬉しく思います。私は現在、県北の特養ホームで栄養士として勤務しています。人生の大先輩に「食」に関して携わっています。最近の利用者様の傾向として、最後は延命治療をせず、施設の中で看取り介護を希望される家族が増えています。そんな中で、私が出来ることは、好きな食べ物や少しでも美味しく口にしたい頂き、家族に看取られるながら笑顔で旅立たれるお手伝いです。私の職務が、ユネスコで少しでも役に立てればと思っ